

三河のつぶやき

今年度は、昨年度以上に安房・いすみ・君津、富津、木更津の医療機関、施設訪問に力を入れていきたいと思っております。以前のように私がすべての場所に訪問することはできませんが、杉田看護師長、吉野退院支援看護師、児玉医療相談員を中心に(もちろん私も)、それぞれ職種の持ち味を生かして訪問させていただきたく存じます。冬の2次救急を止めなければならなかった日数はH23年度には27日間でしたが、H24年度は10日間に短縮されました。その理由は現在調査中ですが、近隣医療機関の皆様から大変大きなお力添えをいただいたことが最も寄与しているように感じております。



地域医療連携室
室長 三河 貴裕

マイーム 夜ヨーグルト

コンビニのデザート棚は豊富に取り揃えられているが、昔から代表的でもあるヨーグルトをお風呂上りに食べるのが習慣になっている。ヨーグルトと言えば、腸内環境を整える乳酸菌ですが、便秘解消・ダイエット・アレルギー症状の改善・コレステロールを低下させるなどさまざまな効能があるのはご存知だと思うが、何よりあの甘酸っぱさが大好き。ヨーグルトも多種あるが、「明治プロバイオヨーグルトLG21」が特に気に入りで週5、「明治ヨーグルトR-1」を週2で食べている。「LG21」は、胃潰瘍などの原因となるピロリ菌を減らし、「R-1」はインフルエンザの感染から守る免疫力を高める作用があるらしい。健康オタクでもないが体に良いことをしている実感しながら一口ずつ楽しみつつ、顔の色艶が良くなっているのは気のせいでしょうか？

ピロリちゃん

TOPICS 開催予定の勉強会のご案内

1. 院内レクチャー：がん看護基礎9回シリーズ
5/13・6/11・7/9・8/12・9/2・10/22・11/11・12/9...
2. 院内レクチャー：がん看護応用9回シリーズ
5/21・6/25・7/30・9/17・10/29・11/26・12/16...
3. 安房地域：がん看護勉強会7回シリーズ
6/28・7/19・8/23・9/20・10/18・11/15・12/13
4. インド・オブ・ライフケアについて考えてみませんか？
5/25(土)13:30～15:30 亀田外ニック6F会議室
5. 子宮頸がんセミナー-知っておきたい子宮頸がん予防-
6/21(金)18:00～19:30 亀田K13ホール
ポスター作成中ですので、出来次第送付致します。
* 詳細についてはポスターをご参照ください。

TOPICS 「医療連携情報サイト」の開設

亀田メディカルセンターのホームページに「医療連携情報サイト」を開設いたしました。

トップページの「がんサイト」から、「医療連携情報サイト」に当院と覚書連携いただいている53の医療機関様の情報を公開しています。地区別に検索し、マップ一覧から地図を確認していただけますので、是非ご利用ください。

* 覚書連携医療機関さまには、詳細を見るためのパスワードを、今後付与して参ります。覚書については、暫時承りますのでお知らせ下さい。

リハビリテーション科の紹介(第5話) 亀田リハビリテーション病院 院長 井合 茂夫

最後の回となりますので、通常はリハビリと受け止められていない場面に「リハ魂」が見いだされる場についてお話をします。私淑する澤村誠志先生は「全ての障害者、高齢者、弱者が等しく受け入れられ、人生を輝かせる事が出来る社会を創る事こそ、本当のリハビリテーションである」と言っておられます。また大田仁史先生は「いつまでリハビリを続けるか？棺桶に入るまでだ！」と「介護期・終末期リハビリ」を説いておられます。私は介護予防やメタボ対策などの場面で回復期リハ棟における臨床の智が大きく役に立てられると信じます。謂わば「発病前リハビリ」と呼べるでしょうか。また特に疾患を持たなくとも、高齢や発達障害などで地域に「居場所が無い」ような環境で外出の機会も奪われ、自主的に引き籠もったり人との交流や生活の喜びを得られない人々も大勢居ます。このような人たちに心と体の健康を取り戻して貰い、更に向上させてあげられる関わりが作れないでしょうか？残念ながら現状はまだ医学的(身体的)側面のみに限局した関わりしか実践されていません。本来は「最適な身体的、精神的、社会的、職業的、経済的な能力を発揮できる状態」を目指して可能な限り高いQOLを実践出来る事を目標とするべきです。謂わば「社会的廃用症候群」までも克服するべく、全ての支援を必要とする人々に専門性とチームワークを武器として関与するなら、どのような局面でもリハビリテーション・マインドが発揮されると考えます。リハビリテーションは医師や看護師、療法士のみが提供するとは考えません。親子で夫婦で友人で隣人で、お互いを支え合い「今より良い健康状態」を目指し「今日より良い明日」を求め「現状より良い社会」を志すなら、そこには「リハ魂」が輝いていると考えています。

利用者との良いかわり

弊社は、鴨川市八色で介護・福祉事業を運営しています。

ここでは、「地域密着型小規模多機能型居宅介護事業」を紹介いたします。利用者・家族の状況に合わせて、通いと訪問を組み合わせて在宅生活を継続できるよう支援することが目的です。当施設は、経管栄養、口・鼻腔からの吸引、在宅酸素、膀胱内留置カテーテルを利用している方、傷の処置のある方、人工肛門・尿路変更を行っている方、腹膜透析を行わなければならない方、血糖検査・インスリン注射が必要な方など、医療依存度の高い方が多いことが特徴です。

また、決められた枠組みでは利用しにくい方へのサービスとして、朝早く、夜遅く、日中2時間だけ等のご要望に応じています。家族と一緒に看取りへのかかわりも行っています。

さらに、基準該当事業としての「生活介護」は身体障害のある方の家族に用事がある時に多く利用されます。家族の受診、近所の寄合、子供の入学・卒業式、運動会などの時です。「日中一時支援」は支援学級に通学されている児童の休日に多く利用されます。

このように、当施設で医療依存度の高い方、身体に障害ある方をお預かりできるのは、亀田総合病院との連携に尽きると言えます。退院時の担当者会議での協議、理学療法士・作業療法士・栄養士による指導、在宅医療事業部との連携です。また、ここ数年は亀田総合病院・NTTコミュニケーションズと共同研究で行われているテレビ電話による遠隔地診療の活用も効果的です。

今後、高齢者の在宅医療が多くなるなかで、亀田総合病院との連携がますます重要になります。利用者に対し、より良いかわりを目指していきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願います。



有限会社フローラ
代表取締役
川名 延江 先生